

トップメッセージ	1
山武と社会とのかかわり	3
山武グループの環境経営	5
エコマネジメント	6
環境方針	
環境目標と実績	7
環境マネジメント	9
山武グループのインプット・アウトプット	11
環境会計	12
エコファクトリー・エコオフィス	13
省エネルギー・省資源活動	
廃棄物削減	15
環境汚染予防	16
エコオフィス	17
グリーン調達・購入	18
エコプロダクト・エコサービス	19
製品・サービスに対する環境配慮	
有害化学物質対策	20
環境ラベル認証製品・サービスのご紹介	21
エコビジネス	22
環境ソリューション	
ソリューション事例のご紹介	23
「環境の山武」意見交換会	25
山武グループの社会的責任	27
コンプライアンス	28
労働安全衛生	29
コミュニケーション	30
社会貢献活動	31
第三者意見	33
会社概要／編集後記	34

## 編集方針

わたしたちは、この報告書をステークホルダーの皆さまの重要なコミュニケーション手段であると考えています。地球環境に対しわたしたちは何を考え、事業を通じてどのようなことに取り組み、そして何を課題としているのかを明確にご理解いただけるよう、読みやすく、分かりやすい報告書を目指して編集しました。今年度はタイトルを「環境・社会報告書」と改め、企業活動をよりわかりやすくお伝えするため、「環境編」と「社会編」に分類しました。作成にあたっては、環境省の「環境報告書ガイドライン」、GRI®の「GRI持続可能性報告ガイドライン」を参考に、定量的な内容となるよう努めました。なお、本書で紹介しきれなかった内容（サイト別の環境パフォーマンスデータ）などをホームページでより詳しく紹介していますので、下記URLをご参照ください。

<http://jp.yamatake.com/corp/eco/>

※GRI (Global Reporting Initiative)：持続可能性(経済・環境・社会)をめぐる報告が日常的に実践されることを目指して、持続可能性報告書の世界的なガイドラインを作成し、継続的改善を行っている国際的な組織。

対象期間：2004年4月1日から2005年3月31日

一部に2005年4月以降の活動と将来の見通しを含んでいます。

対象範囲：山武グループ

特に製造拠点である藤沢、湘南、伊勢原各工場、山武コントロールプロダクト、太信を中心に取り上げています。

次回発行予定：2006年7月

お問い合わせ先：株式会社山武 環境推進室

TEL 0466-20-2190 FAX 0466-27-2557

Eメール epo@jp.yamatake.com

# 「心地よさを人に 地球に」の実現を目指して

## 地球環境問題と「Savemation」

21世紀は「環境の世紀」といわれ、地球温暖化、廃棄物処理、環境汚染、資源の枯渇など地球環境問題への対応が人類共通の大きな課題となっております。

山武グループは、1906年の創業以来、建物・工場・プラントなどにおいて「計測と制御」の技術により、社会とお客さまの「省」に貢献してまいりました。1970年代の石油ショックを機に「Savemation (SaveとAutomationからなる造語)」を企業理念に制定し、「人と地球の調和をめざして豊かな社会と地球環境保護に貢献する」ことを明確にいたしました。また1996年にはビジョンスローガンとして「心地よさを人に 地球に」を制定、さらに2001年には「山武グループ環境憲章」を制定し、持続可能な循環型社会構築に向けて、グループ全体で行動することを宣言いたしました。

## 「心地よさを人に 地球に」

山武グループ自らが、企業活動において環境負荷低減を進めるとともに、企業理念「Savemation」の下にあるビジョンスローガン「心地よさを人に 地球に」の実現を図ることが山武の使命であると考えています。

従来から、建物市場および産業市場における製品・サービス、ソリューションの提供による環境・エネルギー等の課題解決を通して「心地よさを地球に」、そして

ヒューマンケアサービス事業を通して「心地よさを人に」を実現してまいりました。これからはさらに都市環境防災、食の安全、バイオなど、生活・生命分野において“人とオートメーション技術の融合”をさらに進化させ、いわゆる「ライフオートメーション事業」の確立を訴求していきます。“省”に加え“人”を中心とする新たなオートメーション像の創造により環境問題はもとより豊かな世界の実現に貢献したいと考えています。

お客さまとの「協働力」を高めながら、必要とされていることの本質を見極め、課題解決に役立つ製品・サービス、ソリューションをご提供することを基本に、「心地よさを人に 地球に」を実現してまいります。

## 社会的責任 (CSR) の推進

山武が事業活動を行う上で社会との「共生」が持続的発展の基本条件であり、社会的責任を果たすことは重要な経営課題であることは言うまでもありません。この認識に基づき、コンプライアンス(法令順守、企業倫理)、コーポレートガバナンスの強化、および社会貢献活動などのさらなる推進・拡充にも努めてまいります。

山武グループはこれからも「計測と制御」の技術で社会に貢献すると同時に「環境の山武」として持続可能な社会の実現に向けて先進的な役割を果たしてまいります。

株式会社 山武 代表取締役社長

小野木 聖二